



食

食 ~しよくいく~ 育

九の膳

身近にあるんよ。

地域の食育推進

食育の行事って



山手地区食育をすすめる会は10月13日、山手公民館で開かれた山手公民館文化まつりに食育PRコーナーを設けた。箸(はし)の正しい使い方を学ぶ黒大豆つかみゲーム。大人も子どもも夢中になっていた。また、数種類のカット野菜を組み合わせて350gにする自分当てゲームにもぎわっていた(上の写真)。350gとは、1日に食べるとうまいとされる野菜の量だ。

旬のもの

冬至(今年は12月22日)に、ユズ湯に入ると風邪をひきにくくなり、皮膚も強くなるそう



ゆず

皆さんは食育の行事に参加したことがありますか? 実は、市内各地でさまざまな団体が食育に関する行事を開いています。子どもを対象にしたものでは、離乳食や幼児食・手づくりおやつを紹介、おやこ料理教室、サツマイモを育てて食べようなどです。大人向けには、イベントでの食育コーナーや栄養改善教室などを開催。いずれも試食や実演、相談など、参加者が「食」について考えやすいようにと工夫が凝らされています。山手地区では、「山手地区食育をすすめる会」が今年8月に発足。食の実態調査アンケートの実施や、地区内のイベントに食育PRコーナーを出展するなど、地区全体で食育を進める活動に熱心に取り組んでいます。皆さんも、身近な所で行われている食育の行事に参加して、食について考えてみましょう。



◎割り箸の使用は控え、マイ箸を使うようにしましょう。

清潔なごみ集積所を守って

～ごみ集積所維持・美化補助金～

ごみの減量化を目的に有料の指定ごみ袋を導入して、もうすぐ2年になります。導入した最初の年度(平成18年4月から平成19年3月まで)とその前の年度を比較すると、燃やせるごみと燃やせないごみを合わせて約3000トン減っています。割合にすると約18%の減量です。

総社市では、ごみ集積所の設置や管理は、それぞれの自治会や町内会が行なっています。カギの開け閉めや、掃除などは当番を決めて行なわれ、利用者が力を合わせて、清潔なごみ集積所が維持されています。

市では、こういった地域の活動を支援するため、ごみ集積所の掃除道具やペンキ塗りの材料費などを対象とした「ごみ集積所維持・美化補助金」という制度を設けています。



花を植えるなどして、周辺の美化にも努めているごみ集積所の一例

補助金額は、1つの集積所につき年間1万円を上限とし、ごみ集積所の周りに花を植えるなど、周辺の環境整備もいっしょにした場合は、年間2万円を上限に補助されます。補助金の申請の仕方も、利用しやすいように、事業が完了した後に、一度で済みます。どうぞ、この制度を活用して、地域の皆さんの手で、清潔で気持ちよく使えるごみ集積所を守っていきましょう。

詳しいことは、環境課ごみ対策係 ☎83338 まで

協働のまちづくり!
現場から

↓点線に沿って切り取ってください。(官製ハガキでも可)

市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。

このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び
明るい家庭をきずきましよう。
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましよう。

- ◎市の花/れんげ
- ◎市の木/もみじ
- ◎市の鳥/タンチョウ